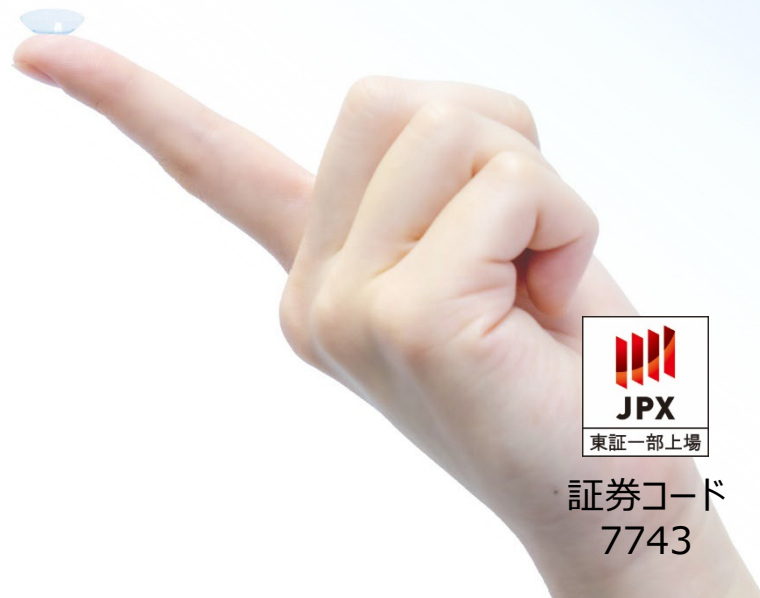


2020年3月期 連結決算説明会

2020年5月15日



 株式会社 シード



証券コード
7743

1. **新型コロナウイルス感染症に向けた取り組み**
2. **2020年3月期 決算概要**
3. **2020年3月期 トピックス**
4. **2021年3月期 見通し**
5. **参考資料**

- 1. 新型コロナウイルス感染症に向けた取り組み**
2. 2020年3月期 決算概要
3. 2020年3月期 トピックス
4. 2021年3月期 見通し
5. 参考資料

従業員の健康・安全確保を最優先に対処しながら、 医療機器メーカーとしての供給義務責任を全うする最大公約数の対応を遂行

従業員への対応

- ・手洗い、アルコール消毒の励行、及び入館時の検温、体調チェックを義務付
- ・在宅勤務（在宅比率：4月 約70%）、フレックスタイムを利用した時差出勤の励行
- ・高熱等の症状がある場合は、自宅待機対応
- ・多人数の会議を中止し、TV会議、電話会議を奨励
- ・週末等における不要不急の外出の自粛を会社としても従業員へ要請

生産体制

- ・正常生産体制を継続
- ・生産に必要な材料・資材確保を実施、生産品目の優先順位を検討
- ・衛生管理の徹底
- ・鴻巣研究所内のマスク着用の義務化

受注・物流体制

- ・正常出荷体制を継続
- ・感染者発生に備え、受注業務を2班の交代制かつ複数拠点体制へ変更
- ・継続受注に対応可能な在庫確保

営業活動

- ・医療機関や販売施設への不急の訪問活動を自粛し、電話やメールでフォローを行う
- ・海外拠点は各国政府等の要請に応えながらフレキシブルに対応

新型コロナウイルス感染症拡大による市場変化と影響

国内

- ・医療機関・販売施設への来院・来店を控えることによる売上減少
- ・デパートやショッピングモール等の営業自粛により、コンタクトレンズ販売店が休業
4月末時点：チェーン店店舗の約40%休業※

※当社調べ

海外

- ・混乱が続き、海外代理店に対する出荷が大幅に遅延

商品展開

- ・外出自粛やマスク着用によるサークル・カラーコンタクトレンズの需要減少



環境変化に適応する体制構築をおこなう

- デパートやモール等へ出店するチェーン店を中心に、各販売施設に応じた顧客確保施策を提案
- インターネットへの不可逆的なシフト発生や変化する販売チャネルへの対応強化
- サークルレンズから単焦点クリアレンズ(Pure/Fine)へのシフトを注視し、商品構成の変化へ対応
- 有事の場合に対応できる資金の確保
- 海外も先行きが不透明な状況が当面継続するが、変化する状況に即応しながら、事業活動を継続

1. 新型コロナウイルス感染症に向けた取り組み
- 2. 2020年3月期 決算概要**
3. 2020年3月期 トピックス
4. 2021年3月期 見通し
5. 参考資料

売上高は既往ピークを更新するも目標未達 消費増税の駆け込み需要反動減の長期化 新型コロナウイルス感染症による影響

●主力であるコンタクトレンズ売上高 前期比 **+9.8%**

ワンデーピュアシリーズ **+8.7%** サークル・カラー **△0.9%** ワンデーファイン **△1.2%** (単体卸売ベース)

●海外売上高 前期比 **+59.4%** *現地法人売上+当社から現地代理店への卸売合計 2019年3月期に買収したCLPL・Wöhlkの連結寄与 **+2,010百万円**

「製造原価の高騰」および「特別損失の計上」により減益

●粗利率 前期比 **△0.7%** ●営業利益 前期比 **△7.5%**

●販管費 前期比 **+8.3%**

●特別損失計上額 **1,215百万円**

当初計画を下回り増収減益に

通期連結決算:実績

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	前期比較	
				増減額	増減率
売上高	27,827	29,489	31,792	2,303	+7.8%
粗利益	12,408	13,369	14,182	813	+6.1%
(粗利率)	44.6%	45.3%	44.6%	△0.7%	
販管費	10,302	11,494	12,449	955	+8.3%
営業利益	2,106	1,874	1,733	△141	△7.5%
(営業利益率)	7.6%	6.4%	5.5%	△0.9%	
経常利益	2,157	1,840	1,691	△149	△8.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,198	963	252	△711	△73.8%

通期連結決算:公表値との差異

連結

[百万円]
百万円未満切捨て

	2019.5.10付 公表数値	2019.8.9付 公表数値修正	2020.5.8付 公表数値修正	2020年3月期 (2020.5.13発表値)
売上高	33,100	33,100	31,750	31,792
営業利益	2,100	2,100	1,700	1,733
(営業利益率)	6.3%	6.3%	5.4%	5.5%
経常利益	2,050	2,050	1,650	1,691
特別損失		※484	※1,215	1,215
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,450	1,000	250	252

※8月9日時点の実績値 ※5月8日時点の実績値

- 売上高 : ①消費増税の駆け込み需要による反動減は今年1月迄継続
②新型コロナウイルス感染症の拡大による国内外への影響
- 営業利益 : 販売地域拡大及び新製品投入開始等の多品種化に伴い製造原価上昇
- 特別損失 : ジルスチュアート 1day UVのたな卸資産評価損
Sensimed社の投融資に対する評価損 (第一四半期の貸倒引当金繰入から勘定科目替え)
Wöhlk社ののれん・無形資産の減損

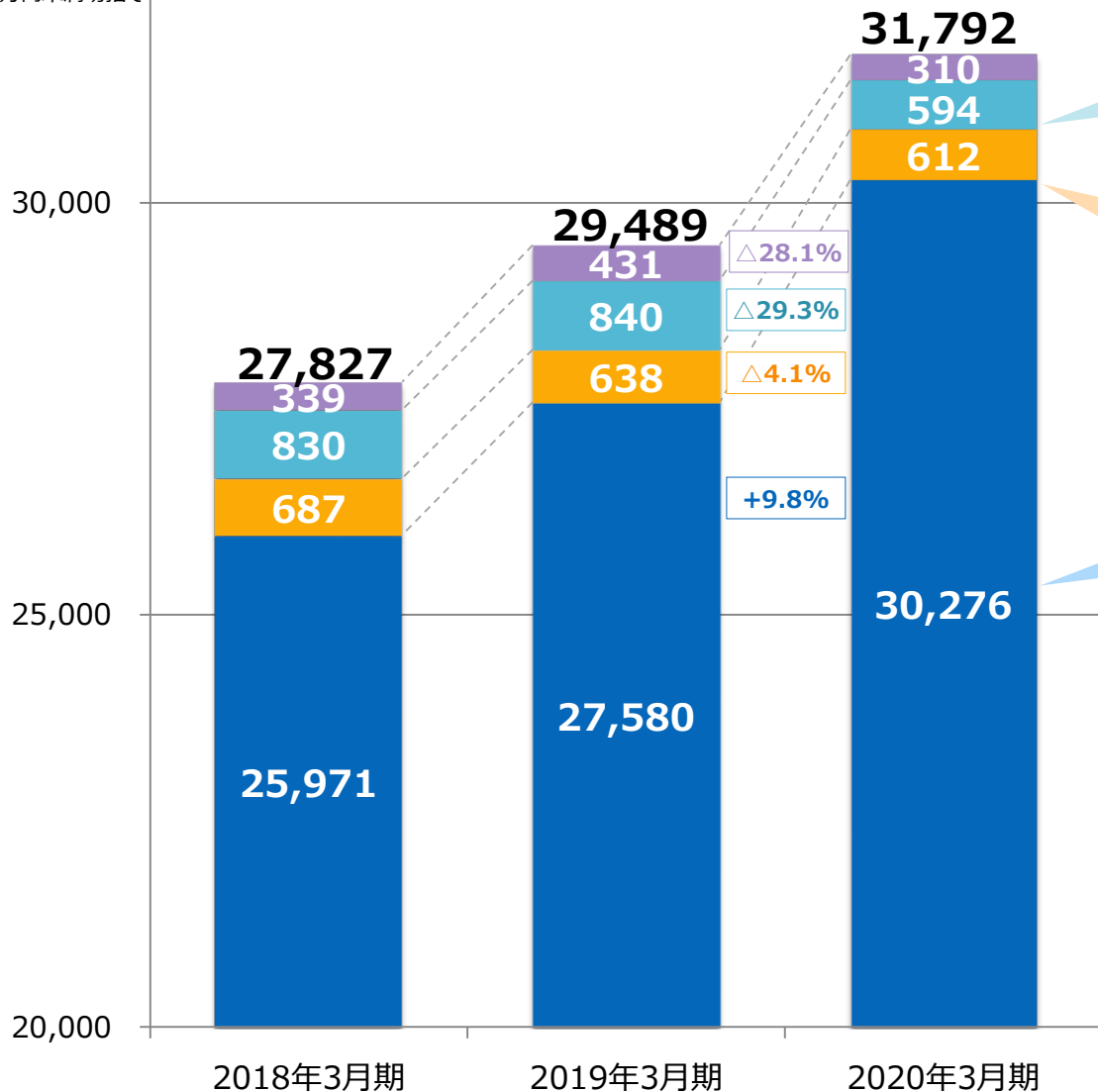
売上高の状況：事業別

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

■コンタクトレンズ ■ケア用品 ■眼鏡 ■その他



✓ 低価格商品への需要シフト
✓ 小売子会社店舗の閉店

✓ コンタクトレンズ市場で1day化が進む
✓ ソフトコンタクトレンズ用ケア用品の一部終売

ワンデーピュア **8.7%増**
2ウィークピュア **1.0%増**
ワンデーファイン **1.2%減**
サークル・カラー **0.9%減**

※対前期増減比率は単体卸売ベース
※ワンデーファイン以外はシリーズ合計

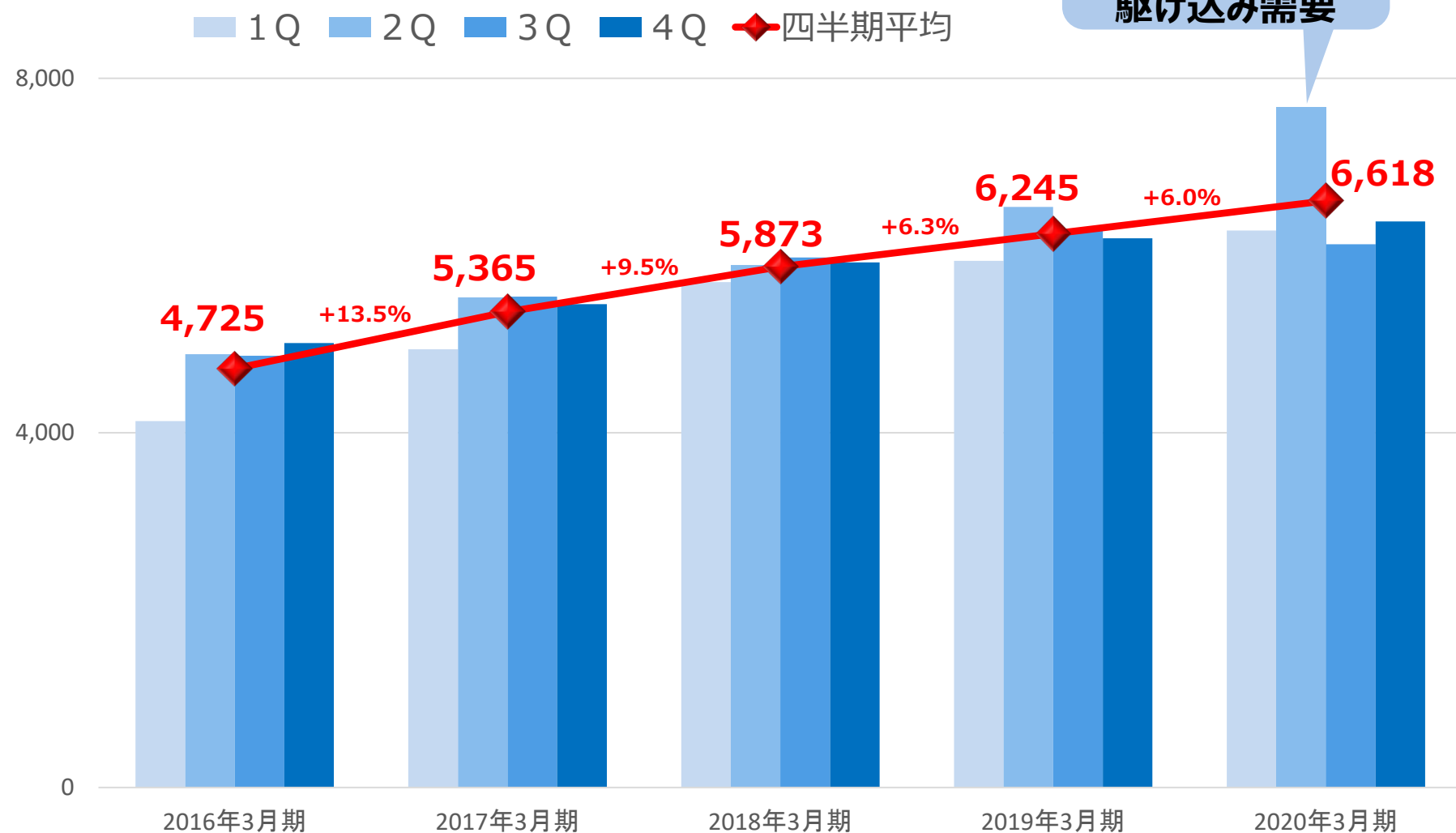
※コンタクトレンズ：光学器械含む
その他：眼内レンズなど

売上高の状況：コンタクトレンズ事業 四半期推移

単体 ※卸売りベース

[百万円]

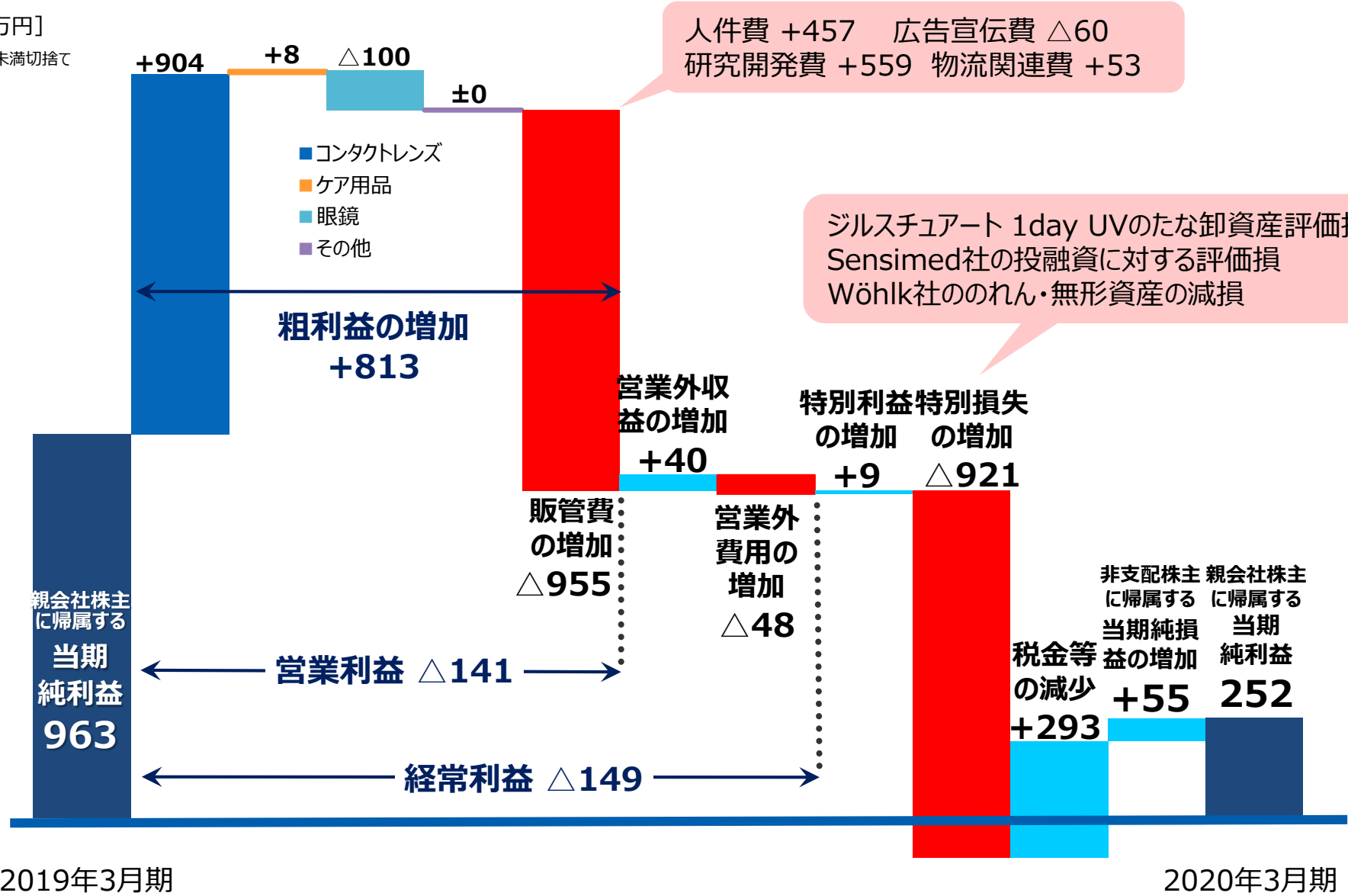
百万円未満切捨て



当期純利益：増減分析

連結

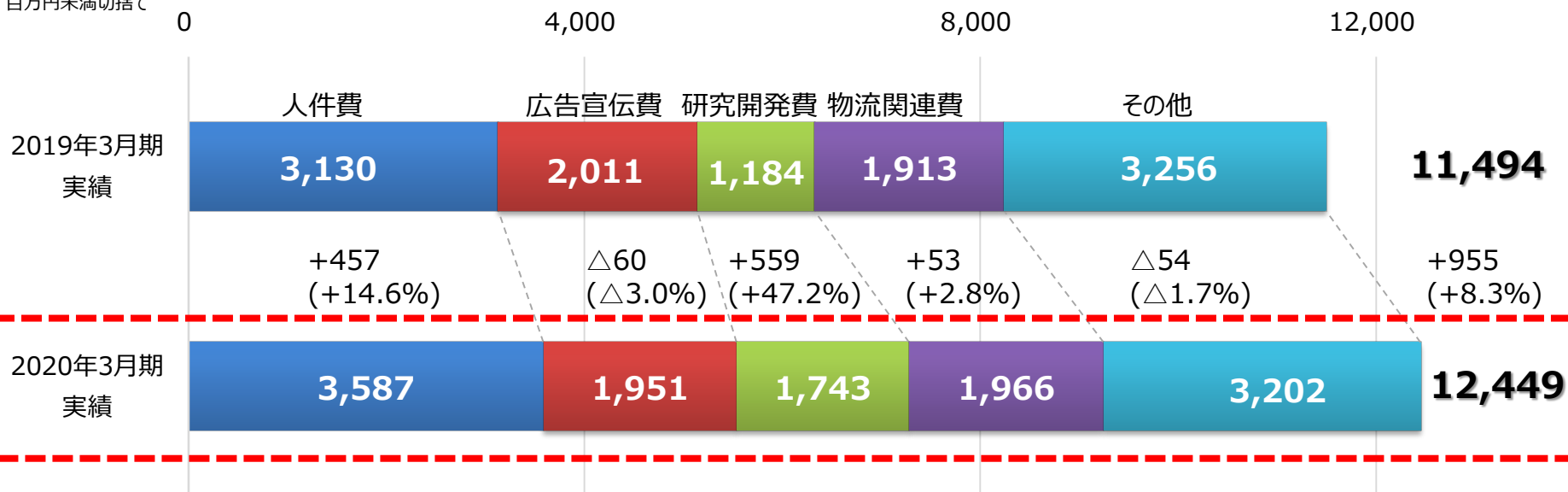
[百万円]
百万円未満切捨て



連結

[百万円]

百万円未満切捨て



- **人件費** : Wöhlk社連結化による増加
- **広告宣伝費** : プロモーション媒体の適正化、各販売店に応じた施策提案実施
- **研究開発費** : シリコン素材レンズ・ハードCLにおける治験実施
大学・研究機関とスマートCL・リングデバイス・オルソ等の共同研究開始
- **物流関連費** : 売上に伴い増加するも、諸施策により圧縮
- **その他** : 新商品のトライアルレンズ費用、減価償却費など

財務状況推移

連結

[百万円] 百万円未満切捨て

	2019年3月期		2020年3月期		前期比較
	金額	構成比	金額	構成比	
資産の部計	40,169	100.0	41,586	100.0	+1,417
流動資産	17,131	42.6	17,482	42.0	+351
内 現預金	2,631	6.5	3,644	8.8	+1,013
たな卸資産・前渡金	8,043	20.0	7,540	18.1	△503
固定資産	23,038	57.4	24,104	58.0	+1,066
内 有形固定資産	19,302	48.1	19,954	48.0	+652
無形固定資産	1,606	4.0	1,675	4.0	+69
負債の部計	29,169	72.6	30,823	74.1	+1,654
流動負債	18,291	45.5	20,295	48.8	+2,004
内 短期借入金	12,985	32.3	14,352	34.5	+1,367
短期リース債務	1,113	2.8	953	2.3	△160
固定負債	10,878	27.1	10,528	25.3	△350
内 長期借入金	5,217	13.0	5,220	12.6	+3
長期リース債務	2,656	6.6	2,250	5.4	△406
純資産の部計	10,999	27.4	10,762	25.9	△237
負債・純資産計	40,169	100.0	41,586	100.0	+1,417

・手元流動性の確保
・上海実瞳光学科技有限
 会社の連結化により増加

ジルスチュアート1day UV
の評価損を反映済

鴻巣研究所3号棟の生産
エリア拡大と設備導入

手元流動性の積み上げ

キャッシュ・フロー：主要項目

連結

[百万円] 百万円未満切捨て

	2019年3月期	2020年3月期	前期比較
営業活動によるC・F	△170	3,897	+4,067
内 税金等調整前純利益	1,551	490	△1,061
減価償却費	2,273	2,652	+379
売上債権の増減	△219	△272	△53
たな卸資産の増減・ 前渡金の増減	△2,277	594	+2,871
法人税等の支払額	△920	△643	+277
投資活動によるC・F	△1,895	△2,649	△754
内 有形固定資産取得	△1,513	△2,269	△756
無形固定資産の取得	—	△334	△334
財務活動によるC・F	2,957	△273	△3,230
内 短期借入金の純増減額	4,295	1,384	△2,911
長期借入金の借入	2,105	2,550	+445
長期借入金の返済	△2,286	△2,595	△309
リース債務の返済による支出	△818	△959	△141
現金及び現金同等物 期末残高	2,631	3,644	+1,013

- ・税金等調整前純利益の計上
- ・減価償却費の増加
- ・商品在庫の圧縮

- ・鴻巣研究所の設備導入
- ・東レ製品の販売権の取得

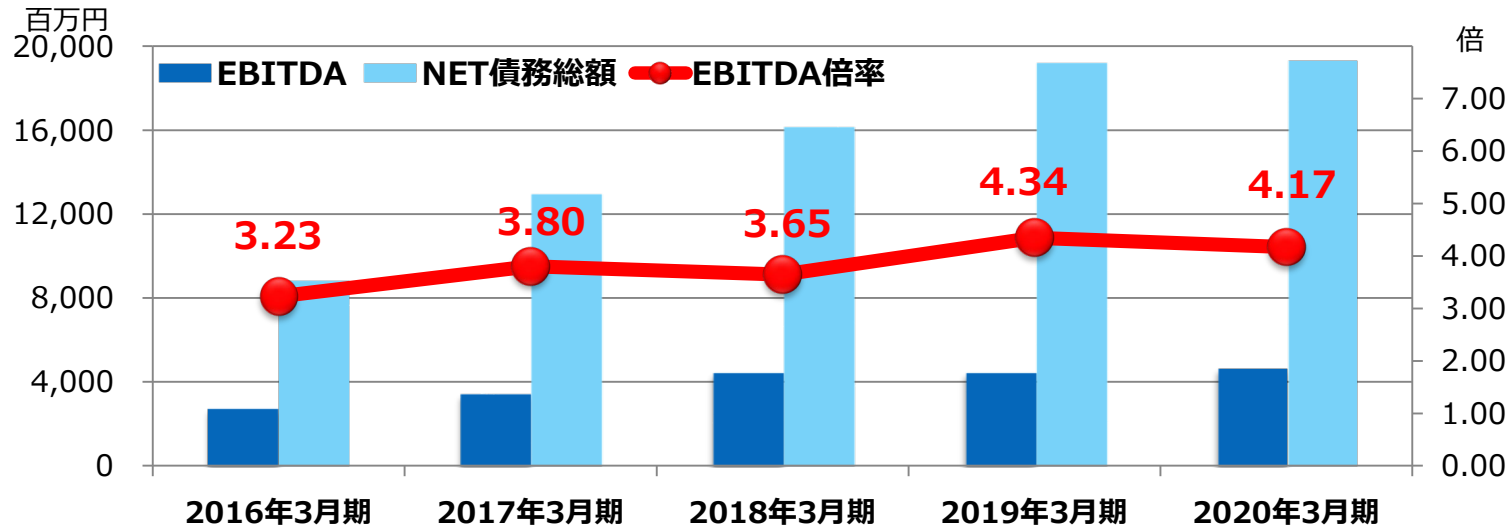
- ・手元流動性の確保
- ・鴻巣研究所の設備投資
- ・借入金およびリースの返済

キャッシュ・フロー：関連指標推移①

連結

[百万円] 百万円未満切捨て

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
営業活動によるC・F	4,217	2,158	3,012	△170	3,897
投資活動によるC・F	△811	△4,643	△5,312	△1,895	△2,649
財務活動によるC・F	△2,548	2,322	2,177	2,957	△273
EBITDA	2,729	3,406	4,422	4,415	4,621
EBITDAマージン EBITDA÷売上高	12.5%	13.9%	15.9%	15.0%	14.5%



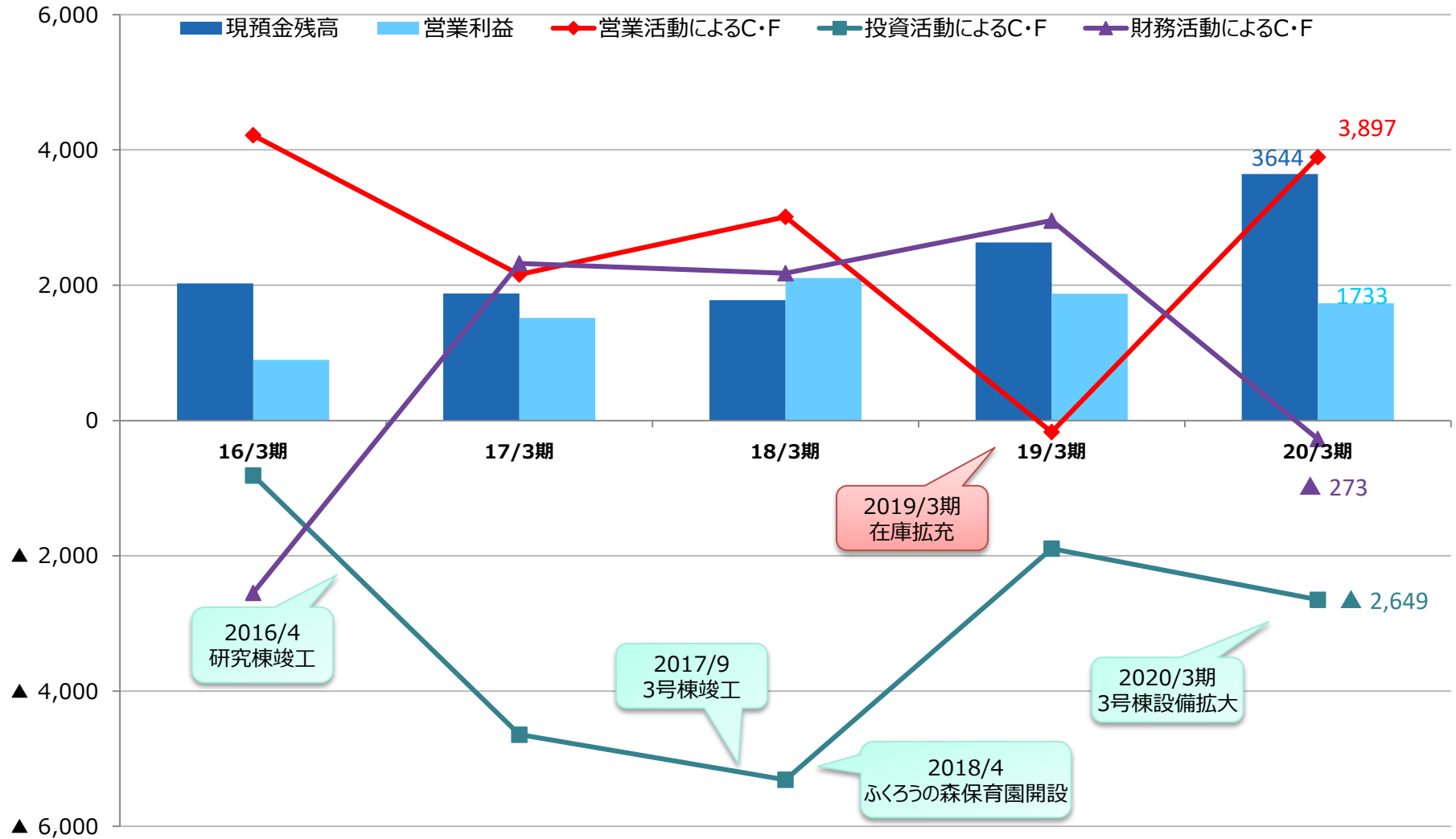
※EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却+支払利息

※NET債務総額=有利子負債+リース債務-現預金

キャッシュ・フロー：関連指標推移②

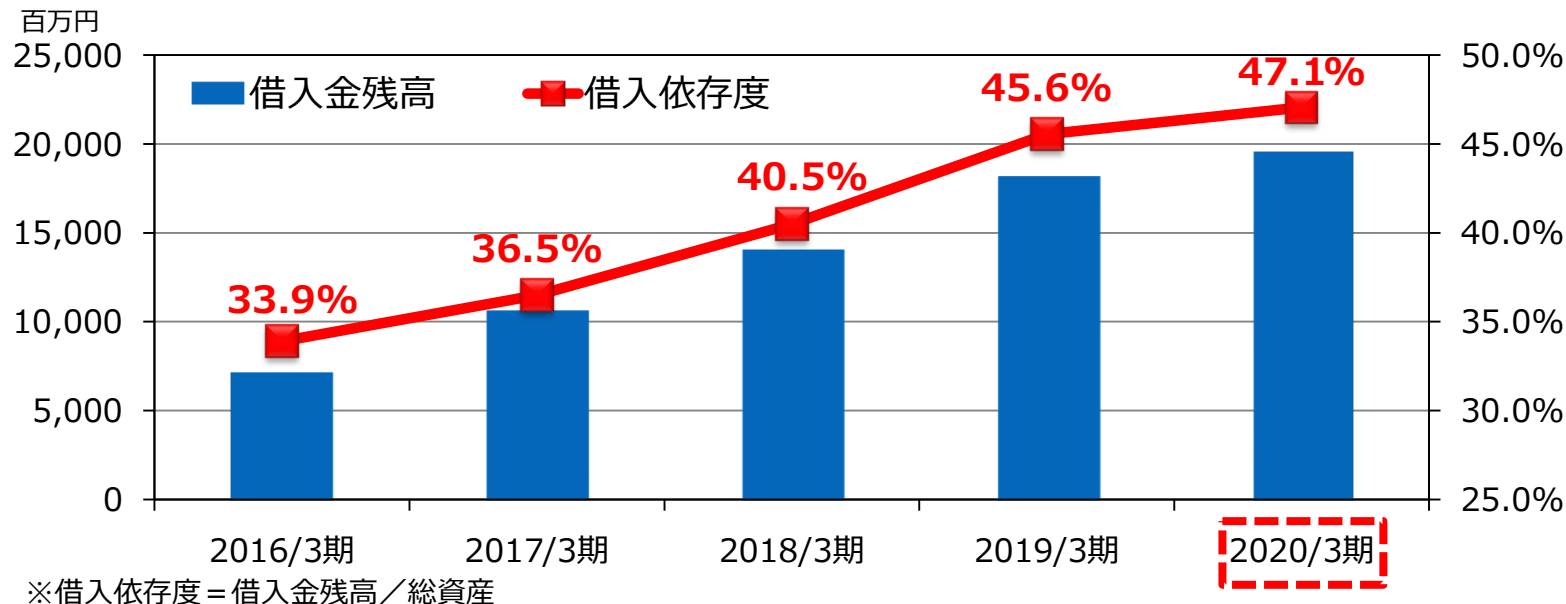
連結

[百万円] 百万円未満切捨て

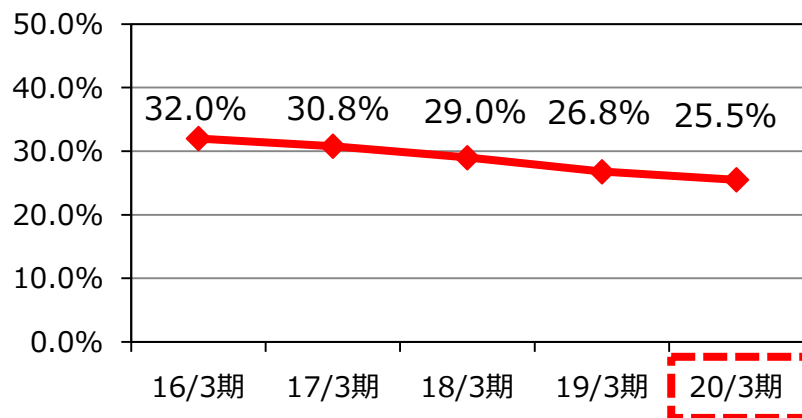


連結

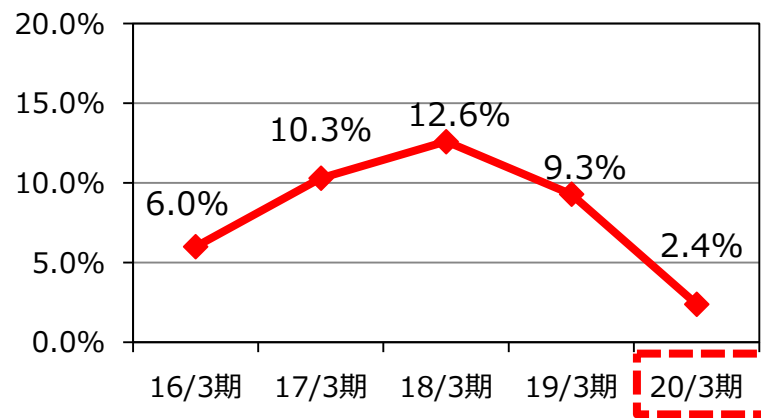
◆借入金の推移



◆自己資本比率

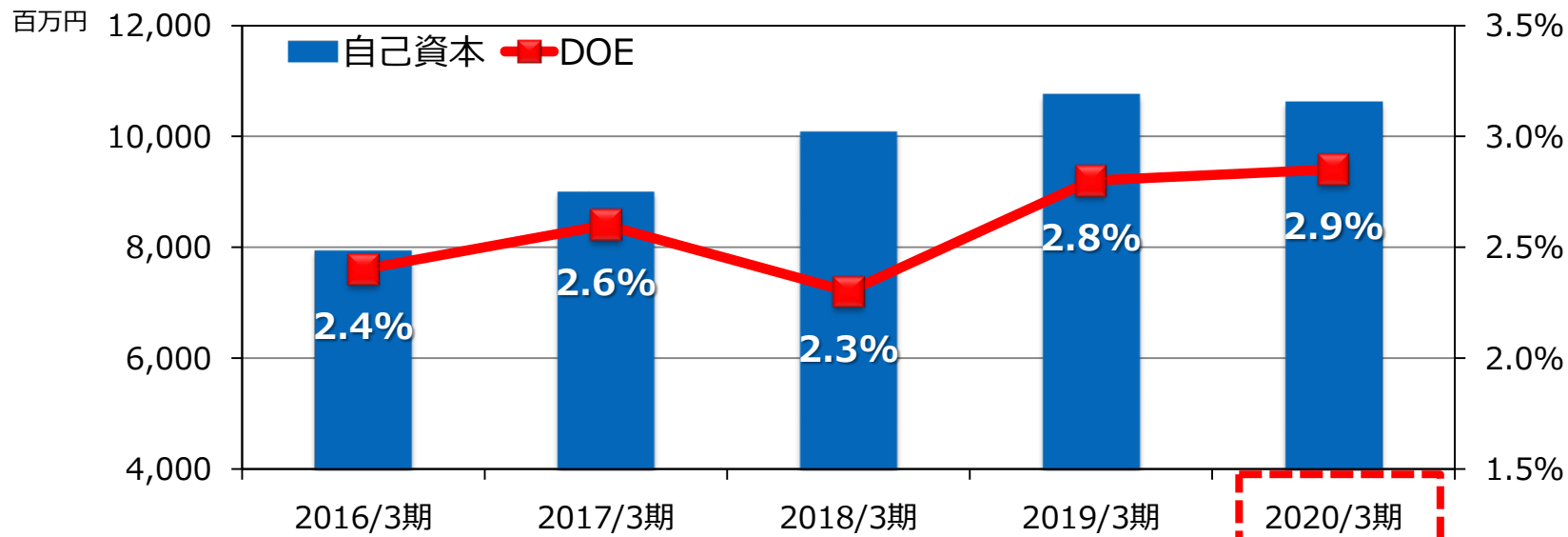


◆自己資本当期純利益率 (ROE)

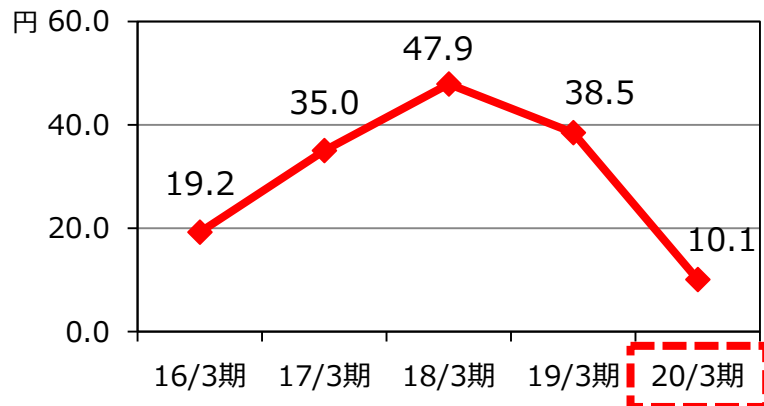


連結

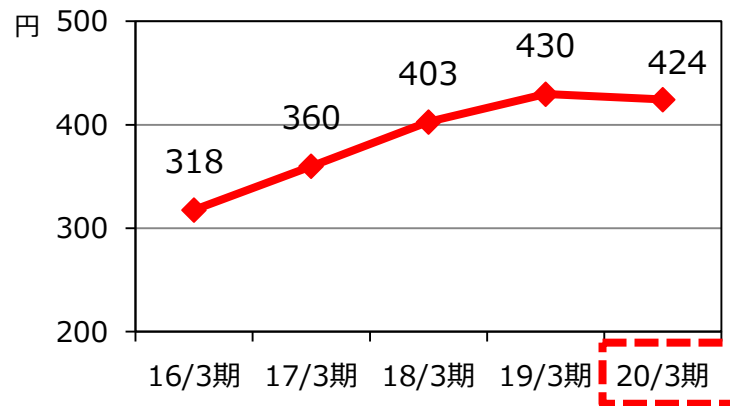
◆株主資本配当率(DOE)



◆1株当たり純利益

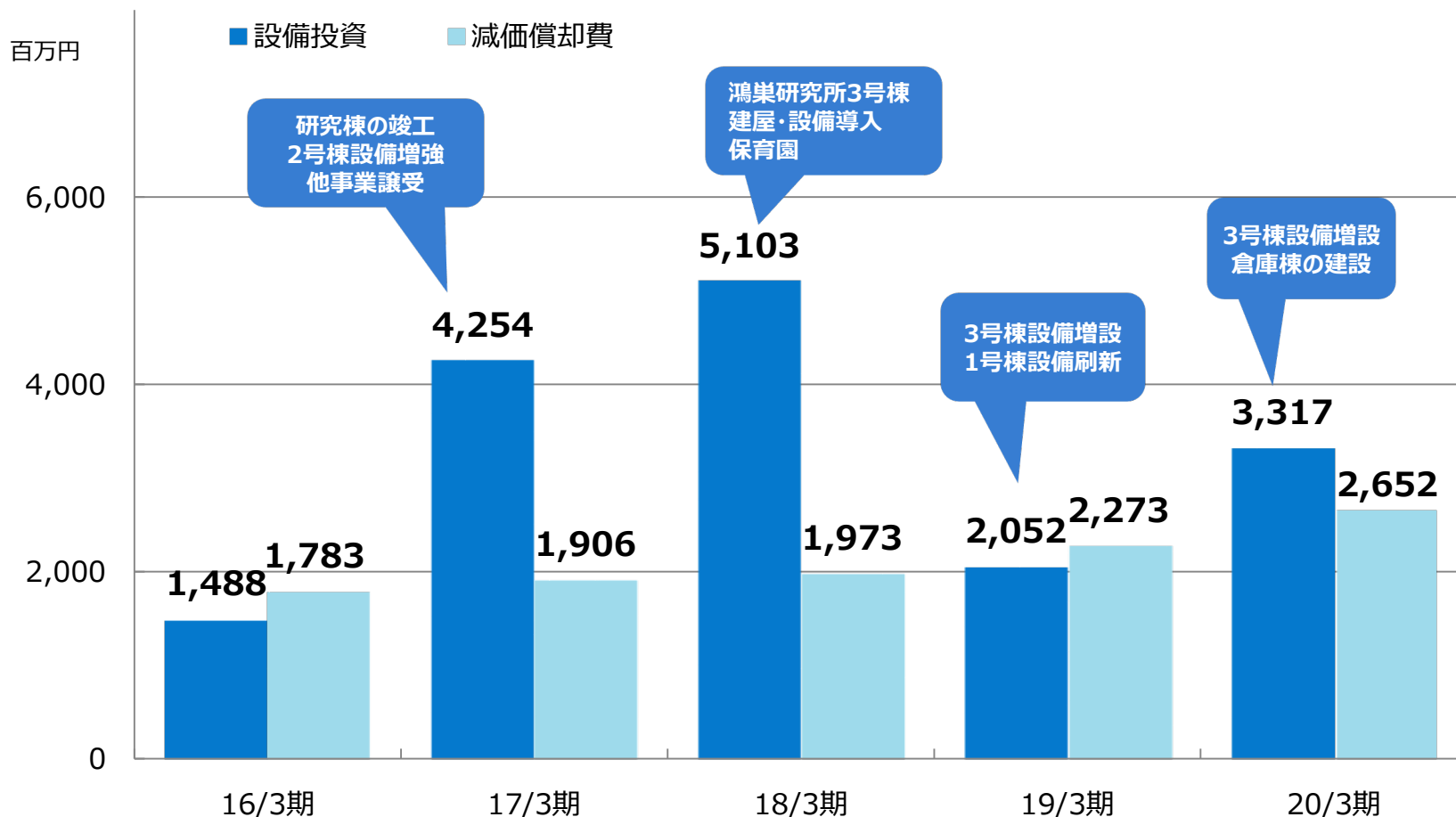


◆1株当たり純資産額



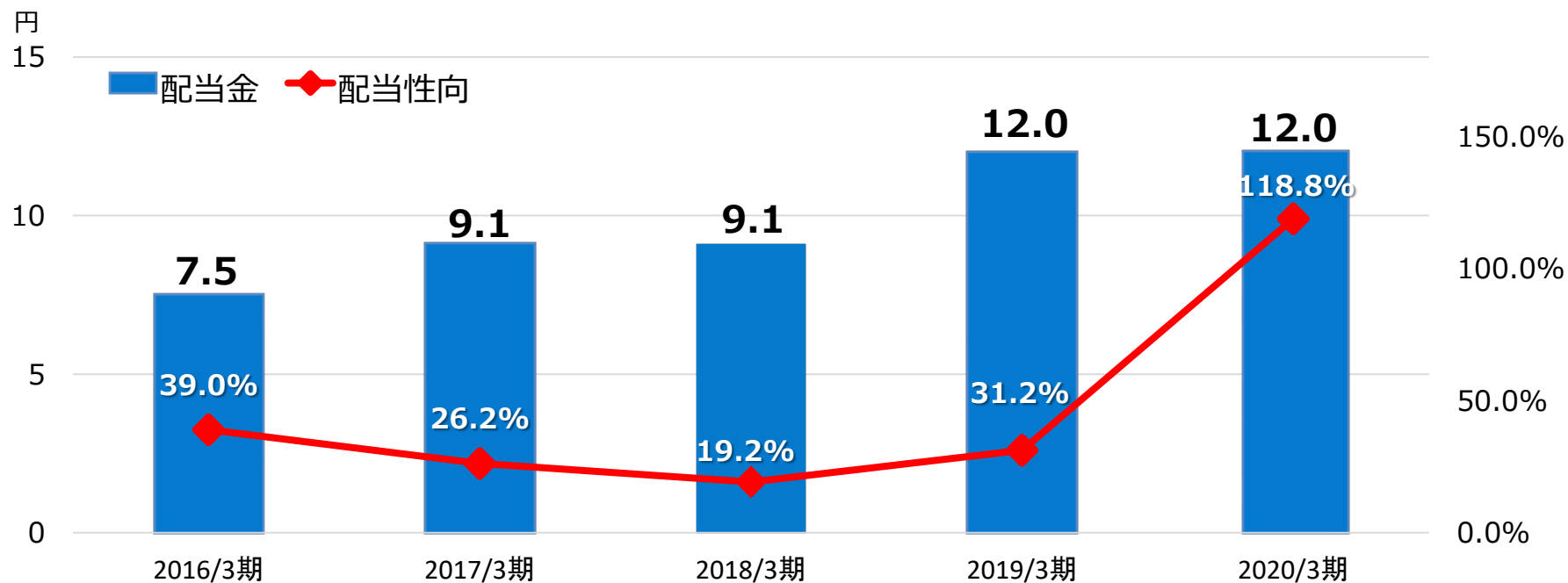
※当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2015年3月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額を算出しております。

生産力拡大の対応・多品種少量生産のための設備投資を実施



※設備投資額は、有形固定資産ベース(リース資産含む)
 ※減価償却費は、有形・無形(のれん除く)・長期前払費用

株主の皆様へ安定的かつ適切な配当継続を実施



※当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。

特別損失の計上等により大幅減益となったが、グループ初の売上高300億円を突破し5期連続増収を達成

1株あたり年間配当金額
 期初の予定通り1株につき**12円**

1. 新型コロナウイルス感染症に向けた取り組み
2. 2020年3月期 決算概要
- 3. 2020年3月期 トピックス**
4. 2021年3月期 見通し
5. 参考資料





アジア地域、ヨーロッパ地域を中心に**31の国と地域**※に展開中
 既存取引国では、地域の特徴に即した展開を図りながら、未進出国へ積極的にアプローチを進めていきます

ヨーロッパ地域

-  ベルギー
-  イギリス
-  イタリア
-  デンマーク
-  ノルウェー
-  スウェーデン
-  アイスランド
-  フィンランド
-  ドイツ
-  ポルトガル
-  スイス
-  オランダ
-  ハンガリー
-  フランス
-  チェコ

Made in Nippon Japan Qualityを 世界へ

2019年

-  5月 ネパール出荷開始
-  6月 フランス出荷開始
-  8月 オーストラリア 現地法人を設立・出荷開始
-  8月 ベトナム ハノイ・ホーチミンそれぞれに
営業所を構え販路を拡大

2020年

-  4月 チェコ 出荷開始

アジア地域

-  中国
-  シンガポール
-  タイ
-  モンゴル
-  マレーシア
-  香港
-  マカオ
-  台湾
-  ベトナム
-  フィリピン
-  インドネシア
-  インド
-  レバノン
-  バングラデシュ
-  ネパール
-  オーストラリア

※2020年5月現在

アジア地域、欧州市場ともに、ニーズを的確に把握し多様な商品展開を進めています

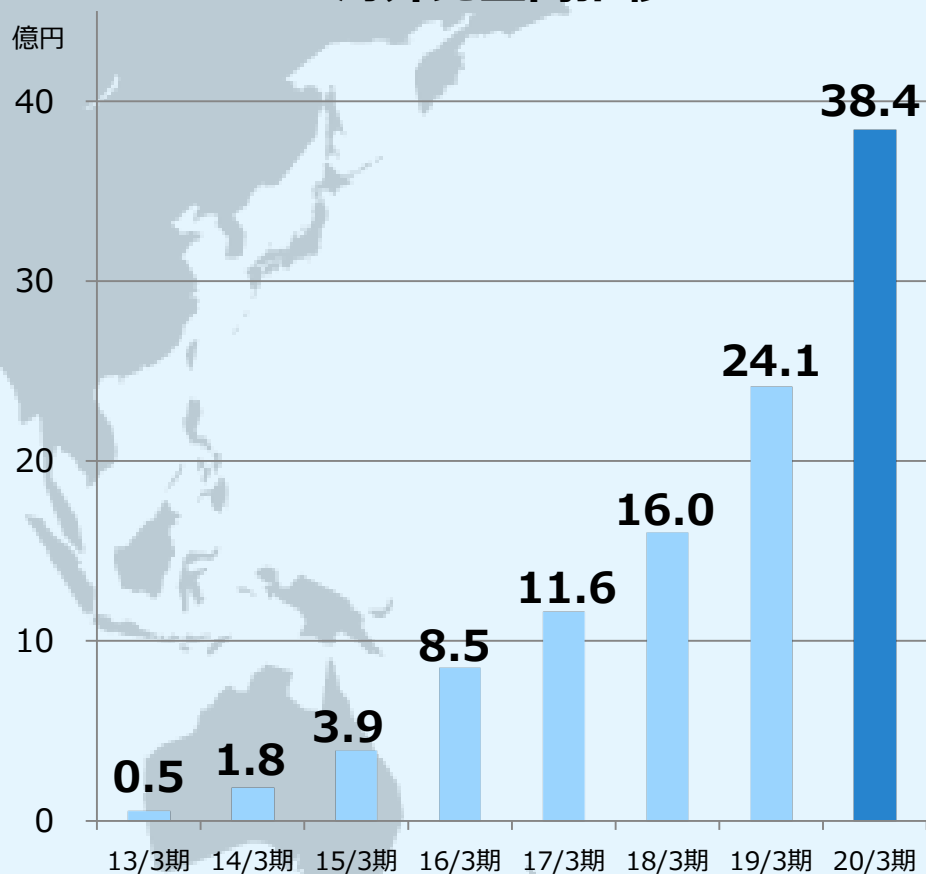
〈アジア地域の主要商品群〉



〈欧州向けCE適合商品〉



海外売上高推移

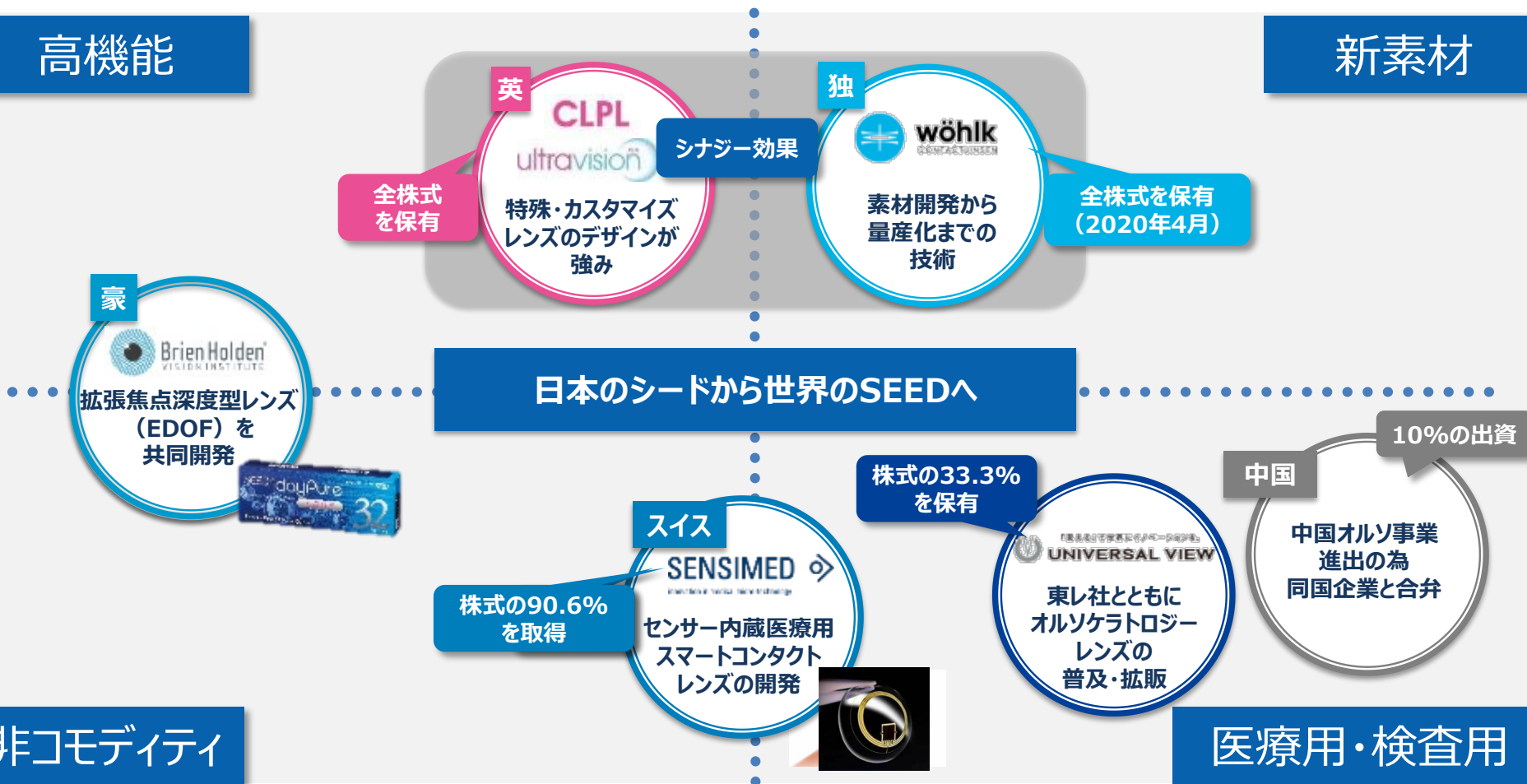


※現地法人売上 + 当社から現地代理店への卸売合計

将来の成長戦略として直近3年間で**30億円超**をM&A(買収)・出資・その他投資

高機能

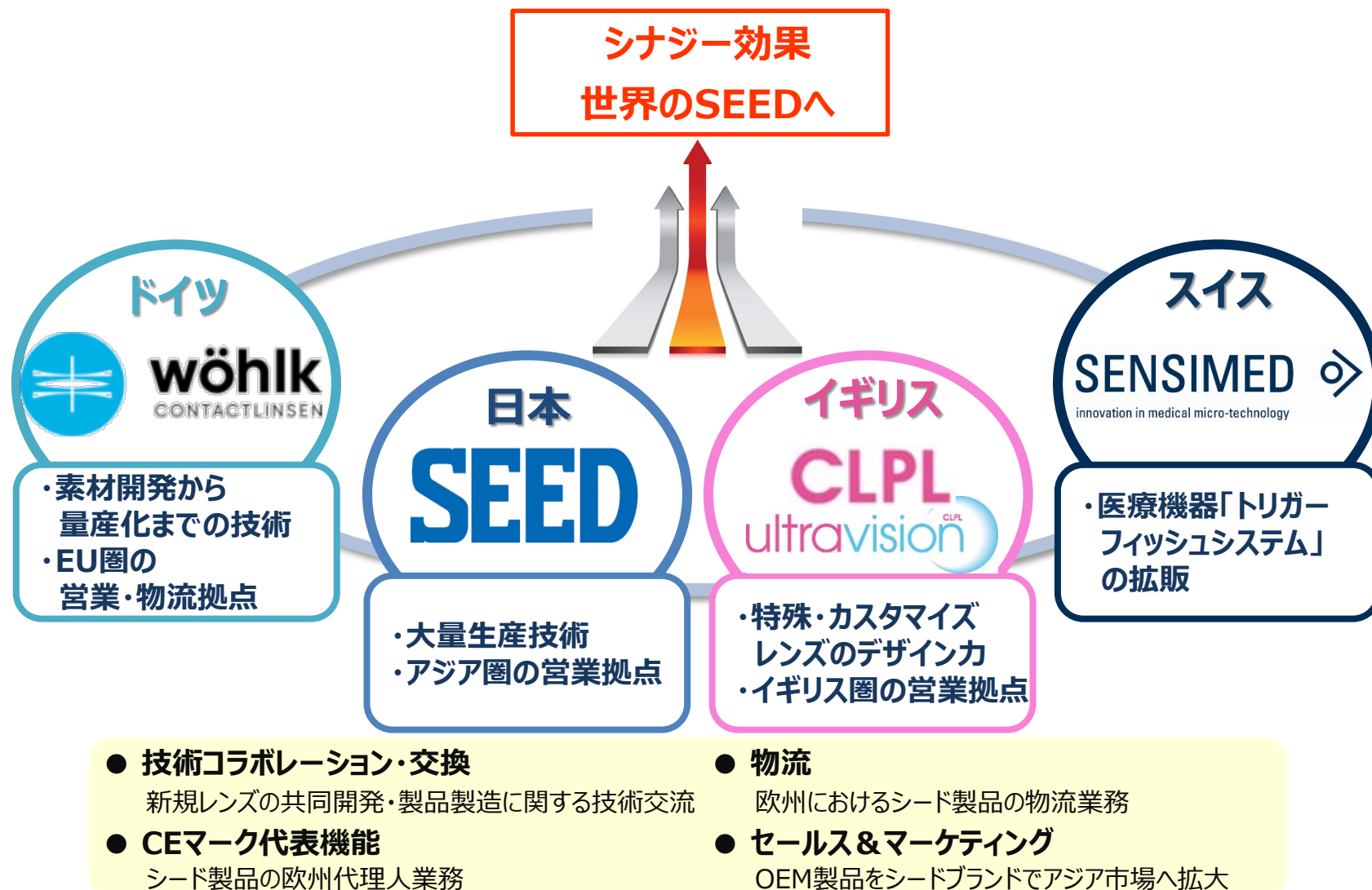
新素材



※その他、子会社への投資（新設・増資）も実施

今後も成長戦略上、必要なM&A(買収)・出資を随時検討・実施していく

海外子会社と連携し商品の相互供給や共同開発、ライセンス付与等を対象に「効率的な製造・販売体制の構築」を推進



中国現地パートナー企業と合併会社を設立

設立背景

- ✓ コンタクトレンズのネット販売が急増する中国市場に対応するため

概要

- ✓ 2019年11月 シードと現地パートナーが共同で設立
(出資比率 シード：60% 現地パートナー：40%)

今後の展望

- ✓ インターネットにおける旗艦店の運営
- ✓ 越境ECの活性化
- ✓ 3年後に単独での現地上場を目指す



2019年12月 Sensimed AG社の株式90.6%を取得



2018年9月に、同社により開発されたトリガーフィッシュシステムの承認を取得、同年12月より日本国内での販売開始。

当社は、本機器の日本国内での販売に加え、2019年12月にSensimed AG社の90.6%の株式を取得。同社の事業展開全般に係る積極的な協働活動をしております。

トリガーフィッシュ システム

スイスの医療機器メーカーSensimed AG社により開発された医療機器（海外では「SENSIMED Triggerfish®」）。

2010年に欧州市場におけるCEマーキング認証を取得、2016年に米国FDAの承認を取得するなど、世界30カ国以上で使用実績があります。



両社の事業を発展させ、日本のコンタクトレンズ産業の振興を図ることを目的として、「コンタクトレンズの研究開発・製造・物流の共同体制構築」を推進

SEED × 'TORAY'

- 2014年8月 製造・物流の共同体制構築における業務協力推進を開始
- 2019年3月 シードがユニバーサルビュー社（「ブレスオーコレクト」製造販売元）株の議決権33.3%を保有、持分法適用関連会社化
- 2019年4月 東レ社、ユニバーサルビュー社と共に「共同事業化契約」を締結
- 2019年10月 オルソケラトロジーレンズ「ブレスオーコレクト」の総販売元を東レ社からシードへ移管

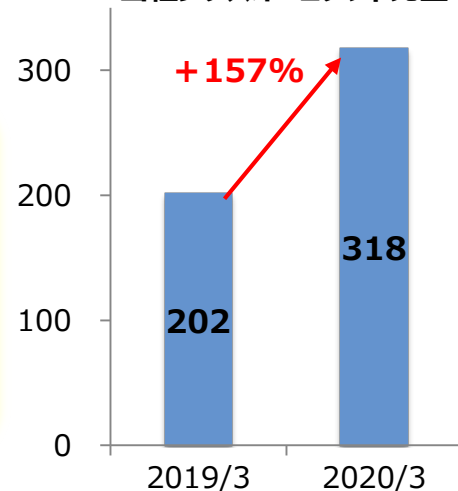


2020年4月 東レ社が製造販売または販売するコンタクトレンズ製品等の販売業者をシードへ変更



東レやわらかハード®シリーズ（OEM製品含む）のハードコンタクトレンズやケア用品をシードが販売。全国に拠点を持つ当社の営業力を活かし、ハードコンタクトレンズ市場におけるシェア拡大を目指す。

■ 当社ブレスオーコレクト売上



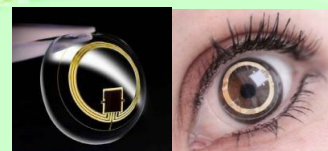
非コモディティ製品である医療用・検査用・治療用コンタクトレンズ等の研究と商業化を進めていく

新しい光学デザイン



シード1dayPure EDOF
(遠近両用コンタクトレンズ)

ブレスオーコレクト
(オルソケラトロジー)



トリガーフィッシュ センサー (角膜曲率変動測定計)
トリガーフィッシュ (テレメトリー式生体信号測定装置)



METORI-50V
(スマートフォン設置型撮影装置)



わんタクト・にゃんタクト
(動物用バンテージコンタクトレンズ)



RETISSA® Display II
《株式会社QDLレーザ》



近視チェック
《横浜近視予防研究所株式会社》

DDS※
花粉症対策

医療分野
新商材

次世代レンズ
etc...



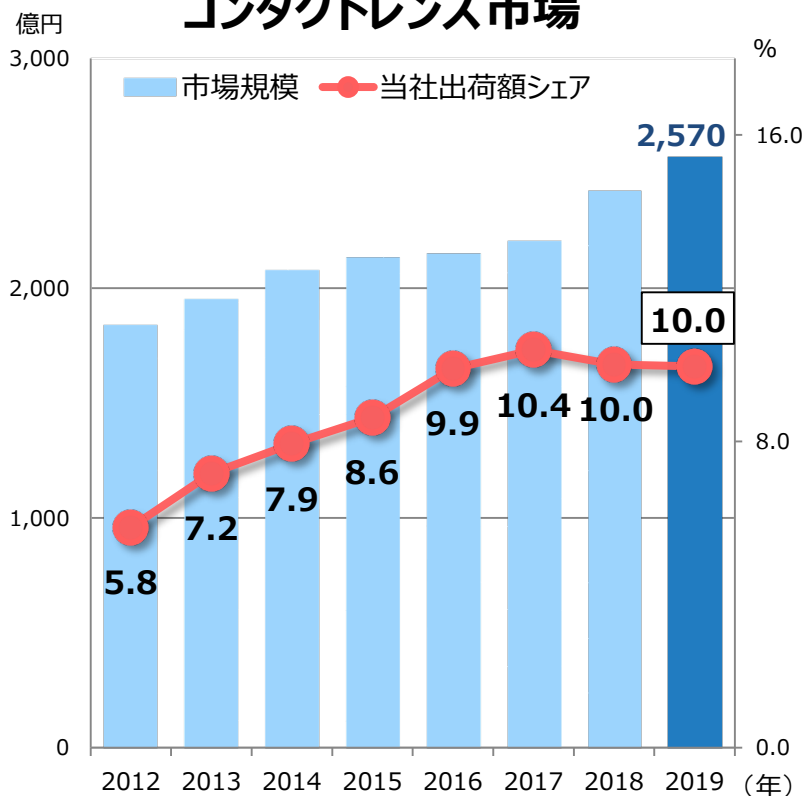
ものいわめ
動物たちの
ために、

デバイスとしての進化

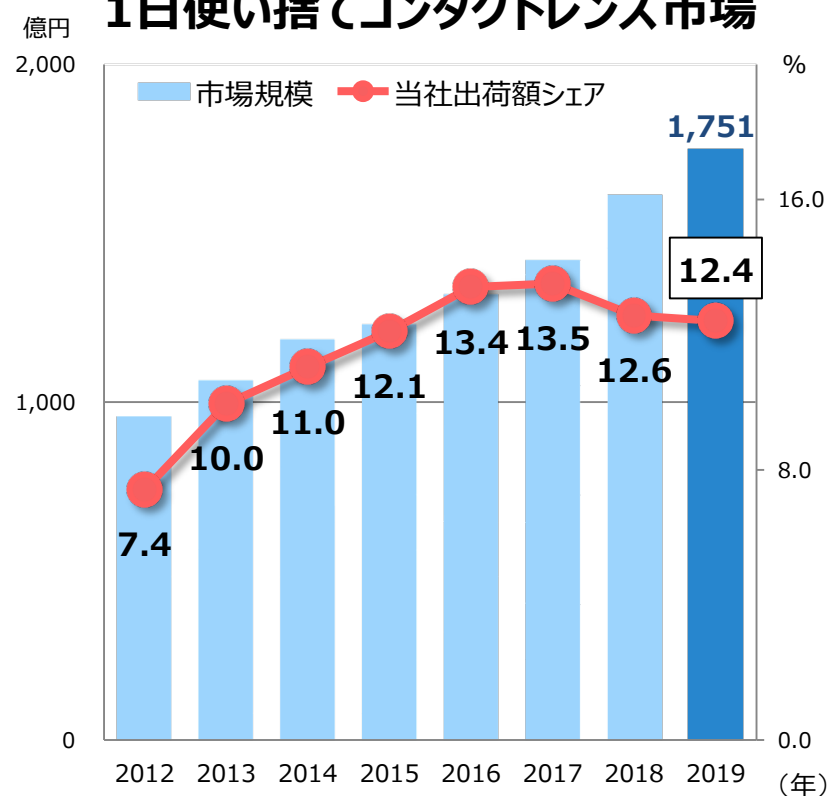
医療分野への進出

※DDS(ドラッグデリバリーシステム)は薬の投与形態を工夫して、必要な場所に、必要な時に、必要な量を投与させることで、薬の効果を最大限に発揮させようとする技術に関する概念

コンタクトレンズ市場



1日使い捨てコンタクトレンズ市場



※メーカー出荷額ベース (当社推計:日本コンタクトレンズ協会出荷額調査ベース)

【市場】

近視人口増加。1day化の進行や、サークルレンズ・遠近両用・乱視用コンタクトレンズ着用者の増加

- ⇒
- ・1人あたりの年間コンタクトレンズ購入金額が増加し、市場規模拡大
 - ・低価格レンズの販売増加、新規チャネルへの移行により競争激化

1. 新型コロナウイルス感染症に向けた取り組み
2. 2020年3月期 決算概要
3. 2020年3月期 トピックス
- 4. 2021年3月期 見通し**
5. 参考資料

2018年6月1日開示 3ヶ年中期経営計画

～ 61年目からの新たな挑戦～
日本のシードから世界のSEEDへ
“より多くのお客様の『見える』をサポートする”

製造メーカーとしての生産規模の拡大と製品の多様化を実現し、
連結売上高400億円を目指す土台作りの3年間と位置付ける

**“『*Made in Nippon*』と『*Japan Quality*』のプライドを通じて
安全で高品質な製品とサービスを提供することを追求”**

日本国内での安定した成長と同時に積極果敢な世界展開を実現
積極的に研究開発費用を投下し、計画的かつ確実な研究成果（商品開発）を実現
省人化・自動化などの技術力の向上により規模の拡大・多品種少量生産を実現
検査用・治療用・医療用等の新たな付加価値をコンタクトレンズに実現
ダイバシティーと多様な働き方を実現、CSR（企業の社会的責任）の充実

中期経営計画の最終年度 次期への足場固めの1年とする

2021年3月期見通し

現時点において、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により業績予想の算定が困難なため未定とさせていただきます。新型コロナウイルスによる影響を定められる状況になった段階で、速やかに公表いたします。

2021年3月期配当予想

業績予想の算定が可能となり次第、あわせて公表いたします。

新型コロナウイルス感染症の影響に対応し、持続的な成長の基盤構築に向けて取組む

商品・販売戦略

- ✓ 主力商品である1dayPureシリーズ・サークルレンズの拡販
- ✓ 高付加価値商品の重点展開
 - ・EDOF・オルソケラトロジー
 - ・シリコン素材のコンタクトレンズ（海外）
- ✓ 多様化する流通チャネルへの対応強化

財務の健全性向上

- ✓ 経費管理の徹底と適正化
- ✓ 在庫の削減によりキャッシュを捻出
- ✓ バランスシートの適正化・自己資本比率の改善

国際化対応

- ✓ 社内の国際化を進め、海外市場での売上拡大を狙う
- ✓ 海外子会社であるCLPL社・Wöhlk社 Sensimed社とのシナジー効果

生産力拡大

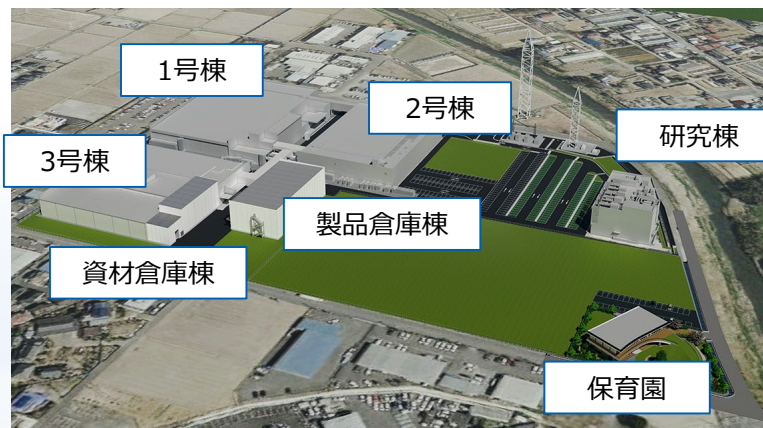
- ✓ 組織変更により生産管理部門を集約
- ✓ 製造から物流までをシームレスに管理
- ✓ 生産効率向上による原価低減
- ✓ 多品種少量生産への対応

生産力拡大 ～Made in Nippon～

埼玉県にある鴻巣研究所の3つの生産棟（研究棟を除く）は、コンタクトレンズ製造能力では国内最大※を誇る工場です。

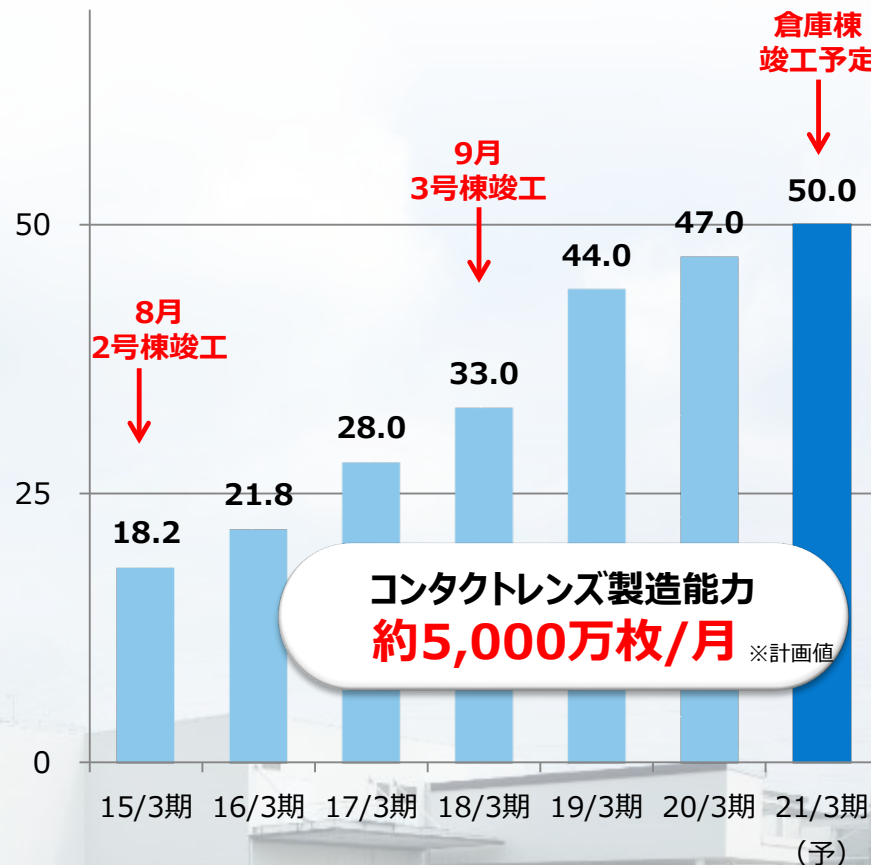
※当社調べ

<鴻巣研究所全体の鳥瞰図>



建物名	延べ床面積	ライン
1号棟	約14,200㎡	多品種対応ライン
2号棟	約9,700㎡	超大量生産ライン
3号棟	約12,500㎡	大量生産ライン
研究棟	約3,640㎡	—
資材倉庫棟	約2,250㎡	(建設中)
製品倉庫棟	約5,000㎡	(建設中)

(百万枚) <月間製造能力推移 (1day・2week) >



1. 新型コロナウイルス感染症に向けた取り組み
2. 2020年3月期 決算概要
3. 2020年3月期 トピックス
4. 2021年3月期 見通し
- 5. 参考資料**

- 本社：東京都文京区本郷二丁目40番2号
- 設立：1957年10月9日(昭和32年)
- 上場：1989年12月(平成元年12月) 店頭公開(現 JASDAQ市場) 証券コード：7743
- 資本金：1,841百万円
- 従業員：1,020名(連結) ※2020年3月31現在
- 営業所：8 (札幌・東京・名古屋・大阪・福岡 他)、その他駐在10 (盛岡・静岡 他) ※2020年4月1日現在
- 工場・研究所：シード鴻巣研究所(埼玉県鴻巣市)

沿革

- 1957年10月 会社設立 商号「(株)東京コンタクトレンズ研究所」
- 1985年11月 ブランド名をマイコンから「シード(SEED)」に変更
- 1987年2月 商号変更「(株)シード」
- 2007年7月 鴻巣研究所を竣工
- 2011年1月 鴻巣研究所 ISO13485取得、CEマーキング指令適合
- 2014年3月 東京証券取引所市場第二部に市場変更
- 2014年8月 鴻巣研究所2号棟竣工
- 2016年6月 研究棟竣工
- 2017年3月 東京証券取引所市場第一部に指定
- 2017年9月 鴻巣研究所3号棟竣工
- 2017年10月 おかげさまで創立60周年
- 2018年4月 保育・児童施設 ふくろうの森 開園



「東京コンタクトレンズ研究所」
当時の社屋



鴻巣研究所



保育・児童施設 ふくろうの森

取扱商品 ~コンタクトレンズ~

1day・2weekからハードコンタクトレンズまで、幅広い商品展開で細分化するニーズにきめ細かく対応しています。

■純国産Pureシリーズ



シード1dayPure
うるおいプラス



シード1dayPure
うるおいプラスFlex



シード1dayPure
EDOF



シード2weekPure
うるおいプラス

乱視用



シード1dayPure
うるおいプラス乱視用

遠近両用



シード1dayPure
マルチステージ

乱視用



シード2weekPure
うるおいプラス乱視用

遠近両用



シード2weekPure
マルチステージ

■サークルレンズ

NEW

乱視用



シード Eye coffret 1day UV M



シード Eye coffret
1day UV M TORIC

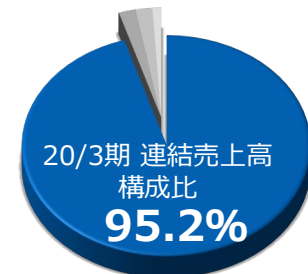


ヒロインメイク
1day UV M

■カラーレンズ



JILL STUART 1day UV



■Fineシリーズ



シード1dayFine UV plus



シード2weekFine UV plus

■従来型コンタクトレンズ

ハードコンタクトレンズ
全7種8品

ソフトコンタクトレンズ
全4種

■特殊トレンズ

シード 虹彩付ソフト
シード Bi-Expert
ユーソフト

NEW

2019年12月12日 新発売

日本初、
医療発。
明日を変える遠近

SEED 1dayPure EDOF 32
Extended Depth Of Focus

SEED 1dayPure
シードワンデーピュア イドフ ED OF

「いーじゃん！
EDOF」

※「シード1dayPure EDOF」は、EDOF（拡張焦点深度）の原理を取り入れたコンタクトレンズとして承認を取得し、日本で初めて薬品化されたコンタクトレンズです。
商品名：シード1dayPure EDOF 販売名：シード1dayPure UP 承認番号：22.00BZX00759000

EDOF とは ⇒ **E**:Extended **D**:Depth **O**:Of **F**:Focus
日本初※の拡張焦点深度型（EDOF）コンタクトレンズ
世界的研究機関“Brien Holden Vision Institute”と共に開発

※「シード1dayPure EDOF」は、EDOF（拡張焦点深度）の原理を取り入れたコンタクトレンズとして承認を取得し日本で初めて販売しました。

イメージキャラクターに女優 米倉 涼子さんを起用

2020年3月16日 新色追加

SEED

Eye coffret 1day UV M
アイコフレ サンデー UV M

透明感あふれる瞳は、
はじめてのサークルレンズにも。

First New!
ファーストメイク
make

販売名：シード Eye coffret 1day UV-M
承認番号：23000BZX00077000

大人気アイコフレシリーズに“サークルレンズデビュー”におすすめの新色が登場

2012年7月に、日常の中で瞳にちょっとだけステキをプラスできるコンタクトレンズとして誕生したサークルレンズ「シード Eye coffret 1day UV M」から、新色「**First make**」が発売。
“バレずに・とにかく自然に瞳を大きく見せたい”という市場のニーズを満たすデザインに仕上げています。

新商品③ SEED 1day Silfa

2020年 海外にて新発売予定

当社初のシリコンハイドロゲルレンズ CEマーキング取得



コンタクトレンズケア用品事業

コンタクトレンズを快適にお使いいただくためのケア用品を各種提供しています。

1.9%

20/3期連結売上高
構成比



フォレストリーフ
ソフトコンタクトレンズ用
洗浄・保存・すすぎ液



ピュアティモイスト
酸素透過性ハードコンタクトレンズ用
酵素洗浄保存液



ジェルクリンW
酸素透過性ハード・
ソフトコンタクトレンズ用洗浄液

眼鏡事業

イメージキャラクターを採用したオリジナルブランドのメガネフレームなどを展開しています。

1.9%

20/3期連結売上高
構成比



プラスミックス
松岡廣大さんイメージキャラクター



ビビッドムーン
北川景子さんイメージキャラクター



Pheasant

FACET
femme

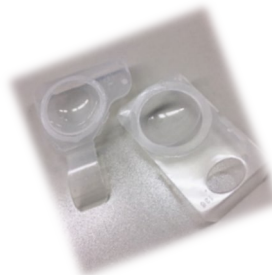
ブリスター回収によるリサイクル活動を開始



◆プラスチック廃材のリサイクル

世界中で問題となっているプラスチックごみ問題。

なかでも海洋プラスチックごみは、生態系に甚大な影響を与えており、今後ますます悪化していくとみられています



外食産業ではストロー廃止など動き始めている中、プラスチック製品を使用している企業としての責任から、持続可能な社会を目指し発足したプロジェクトです。

**2019年7月～2020年3月末までに
295kgのブリスターを回収し、
リサイクル事業者へ提供**

眼科・販売店148店舗（子会社含む）、8企業※に回収箱設置のご協力をいただいております、順次拡大しております。

※2020年4月末現在

シードは、国連の掲げる持続可能な開発目標 (SDGs)の17の目標のうち**5つ**に貢献します

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

国内関係会社

*株式会社シードアイサービス

*株式会社アイスペース

●株式会社ユニバーサルビュー

横浜近視予防研究所株式会社

* : 連結子会社
● : 持分法適用関連会社

海外子会社

*実瞳商有限公司 (中華人民共和国)

*SEED INTERNATIONAL LTD.
(イギリス)

*上海実瞳光学科技有限公司 (中華人民共和国)

*Wöhlk Contactlinsen GmbH
(ドイツ)

*SEED CONTACTLENS ASIA PTE.LTD.
(シンガポール共和国)

*SEED Contact Lens Europe GmbH
(ドイツ)

*台湾實瞳股份有限公司 (台湾)

SEED CONTACT LENS (M)SDN.BHD
(マレーシア)

*Contact Lens Precision Laboratories Ltd.
(イギリス)

SEED CONTACT LENS (ANZ) PTY LTD.
(オーストラリア)

*Ultravision international Ltd.
(イギリス)

SEED CONTACT LENS VIET NAM CO, LTD.
(ベトナム)

*Sensimed AG
(スイス)

* : 連結子会社

SEED

「見える」をサポートします

本資料に関するお問い合わせ

株式会社シード 経営企画部

TEL 03-3813-1650

またはホームページお問い合わせフォーム

<https://www.seed.co.jp/contact/>

当資料の見込みに関しては、現時点において入手可能な情報及び当社の計画・戦略に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の経済情勢・業界動向等、様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存しての投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。